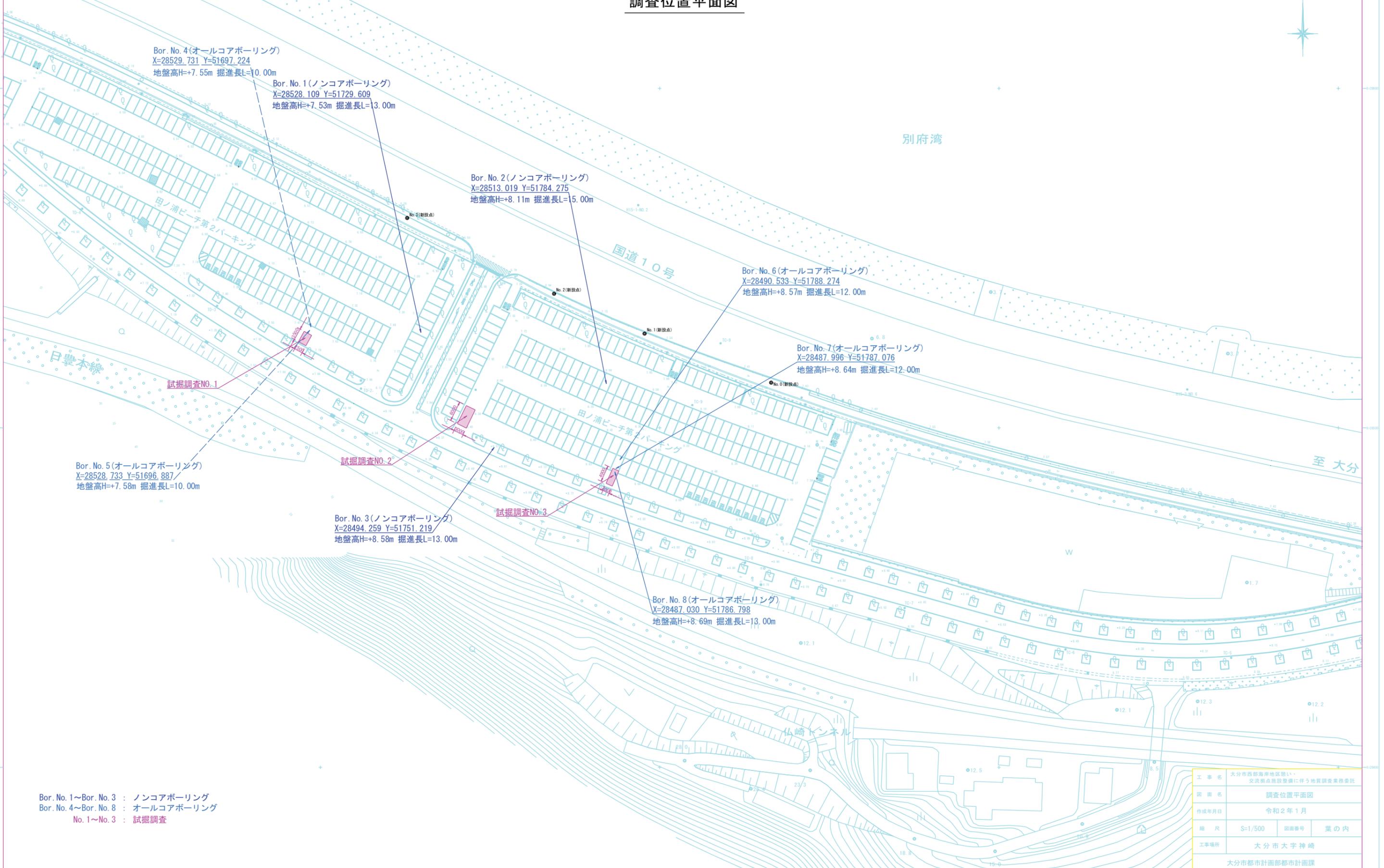


資料7 本公共施設計画地地盤調査資料、既設埋設構造物地質調査(概要)

(1) 調査位置平面図

※A1版平面図(S=1/500)をA3版(S=1/1000)に縮小表示

調査位置平面図



Bor. No. 4(オールコアボーリング)  
X=28529.731 Y=51697.224  
地盤高H=+7.55m 掘進長L=10.00m

Bor. No. 1(ノンコアボーリング)  
X=28528.109 Y=51729.609  
地盤高H=+7.53m 掘進長L=13.00m

Bor. No. 2(ノンコアボーリング)  
X=28513.019 Y=51784.275  
地盤高H=+8.11m 掘進長L=15.00m

Bor. No. 6(オールコアボーリング)  
X=28490.533 Y=51788.274  
地盤高H=+8.57m 掘進長L=12.00m

Bor. No. 7(オールコアボーリング)  
X=28487.996 Y=51787.076  
地盤高H=+8.64m 掘進長L=12.00m

Bor. No. 5(オールコアボーリング)  
X=28528.733 Y=51696.887  
地盤高H=+7.58m 掘進長L=10.00m

Bor. No. 3(ノンコアボーリング)  
X=28494.259 Y=51751.219  
地盤高H=+8.58m 掘進長L=13.00m

Bor. No. 8(オールコアボーリング)  
X=28487.030 Y=51786.798  
地盤高H=+8.69m 掘進長L=13.00m

Bor. No. 1~Bor. No. 3 : ノンコアボーリング  
Bor. No. 4~Bor. No. 8 : オールコアボーリング  
No. 1~No. 3 : 試掘調査

工事名	大分市西部海岸地区臨海・交流拠点施設整備に伴う地質調査業務委託		
図面名	調査位置平面図		
作成年月日	令和2年1月		
縮尺	S=1/500	図面番号	業の内
工事場所	大分市大字神崎		
大分市都市計画部都市計画課			

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 大分市西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備に伴う地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 1	調査位置	大分市大字神崎字梶原1228-5番地外			北緯	33° 15' 21.6448"
発注機関	大分市都市計画部 まちなみ企画課	調査期間	令和元年 11月 25日 ~ 令和元年 11月 27日			東経	131° 33' 18.7044"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者							
孔口標高	H= +7.53m	角			方位		
総削孔長	13.00m	地盤勾配			使用機種	試錐機	YBM 05
					エンジン	ポンプ	YBM-GP-5
							ヤンマーNFAD8K

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内位置試験	削孔月日								
												深度-N値図									深度 (m)	試験番号	採取方法					
												N値	100mmごとの打撃回数	100	200	300	50回の貫入量	自沈時の貫入量										
1	7.28	0.25		軟性土混じり砂質礫	GS-F	黄褐色	中ぐい	中ぐい		AS舗装厚t=50 路盤厚t=200 軟性土混じり砂質礫を主体とする埋土。全体的にφ5~200mm程度の亜角礫を多く含む。上部付近に混入する礫は風化状を呈するものを多く含み、下部付近に混入する礫は安山岩質のものを多く含む。2.00m付近でのN値は錐打ちによるものと想定される。ただし、部分的に礫の混入が少ない箇所も確認される。	11/27 4.30	0	10	20	30	40	50	1.15	12	10	16	38	300	50	1.15	1-1	物理試験	11/25
2				軟性土混じり砂質礫	GS-F	黄褐色	中ぐい	中ぐい									1.45	50	50	50	50	50	1.45					
3				軟性土混じり砂質礫	GS-F	黄褐色	中ぐい	中ぐい									3.15	6	4	4	14	300	3.15	1-2	物理試験			
4				軟性土混じり砂質礫	GS-F	黄褐色	中ぐい	中ぐい									3.45						3.45					
5	2.73	4.80		軟性土質砂質礫	GFS	黄褐色	緩い	緩い		軟性土質砂質礫を主体とする埋土。全体的にφ5~120mm程度の礫を多く混入するが、粘土分の混入も多い。下部につれて礫の混入が多くなり、完全透水も確認される。5.0m付近では粘土分を主体とし、含まれる粘土の粘着力が高く、手で触るとまとわりつく強相。全体的に緩い状態を呈する。							5.15	2	1	1	4	300	5.15	1-3	物理試験			
6				軟性土質砂質礫	GFS	黄褐色	緩い	緩い									5.45						5.45					
7	0.73	6.80		砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい		φ10~50mm程度の亜円~亜角礫を主体とし、隙間は主に粗砂で充填される。全体的にやや緩い状態を呈する。							6.15	6	6	4	16	300	6.15	1-4	物理試験			
8	-0.17	7.70		砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									6.45						6.45					
9				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									7.15	7	7	15	29	300	7.15	1-5	物理試験			
10				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									7.45						7.45					
11				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									8.00	17	27	6	50	210	8.00					
12				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									8.21						8.21					
13				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									9.00	27	23	50	150	150	9.00					
14				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									9.15						9.15					
15				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									10.00	30	20	50	130	130	10.00					
16				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									10.13						10.13					
17				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									11.00	40	10	50	120	120	11.00					
18				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									11.12						11.12					
19				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									12.00	35	15	50	130	130	12.00					
20				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									12.13						12.13					
21				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									13.00	30	20	50	130	130	13.00					
22				砂質礫	GS	灰	中ぐい	中ぐい									13.13						13.13					













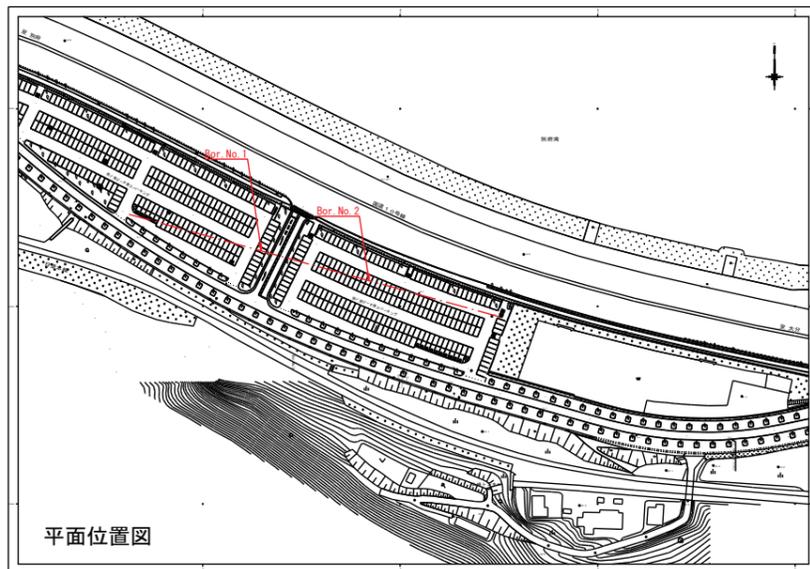
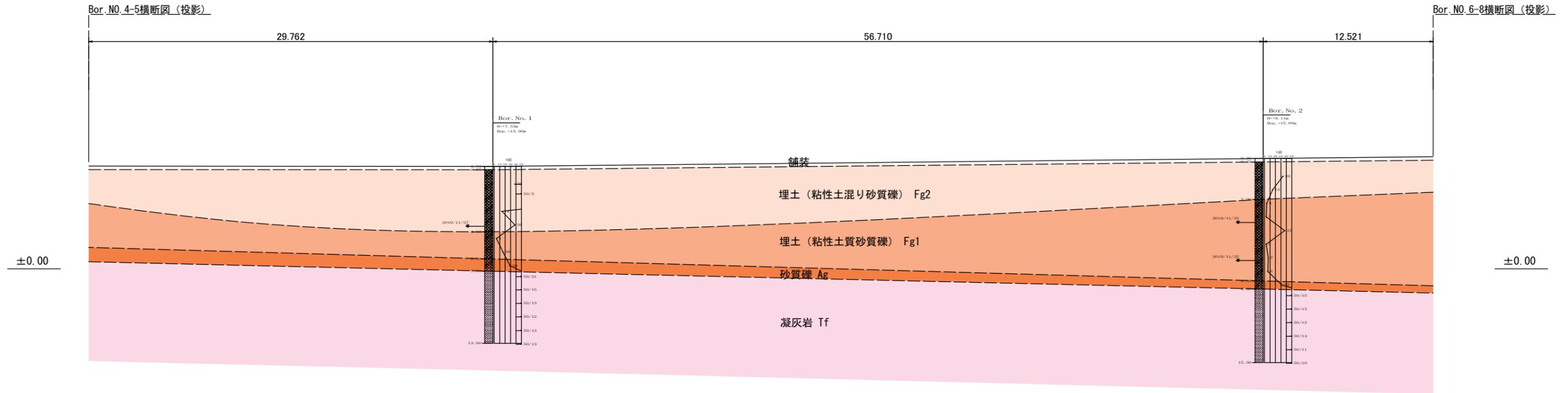


(2) 縦断面図 (Bor.No.1~Bor.No.2)

※A1版縦断面図 (S=1/150)をA3版 (S=1/300)に縮小表示

縦断面図

Bor. No. 1~Bor. No. 2



凡例

Bs	: 粘性土混じり礫質砂	埋土・盛土
Fg2	: 粘性土混じり砂質礫	
Fg1	: 粘性土質砂質礫	
Ag	: 砂質礫	沖積層
Tf	: 凝灰岩	洪積層

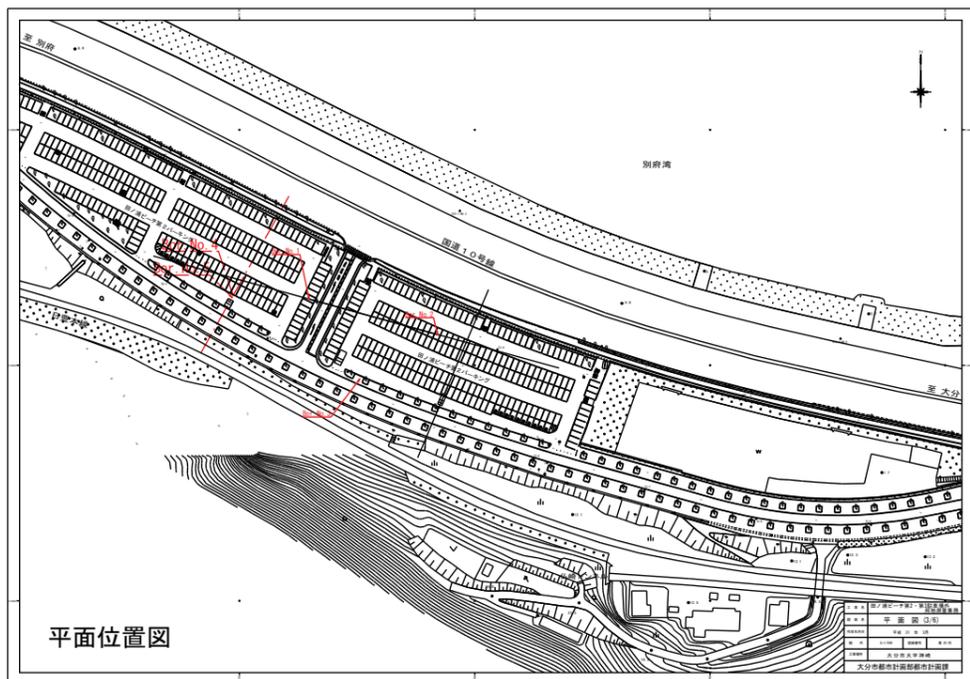
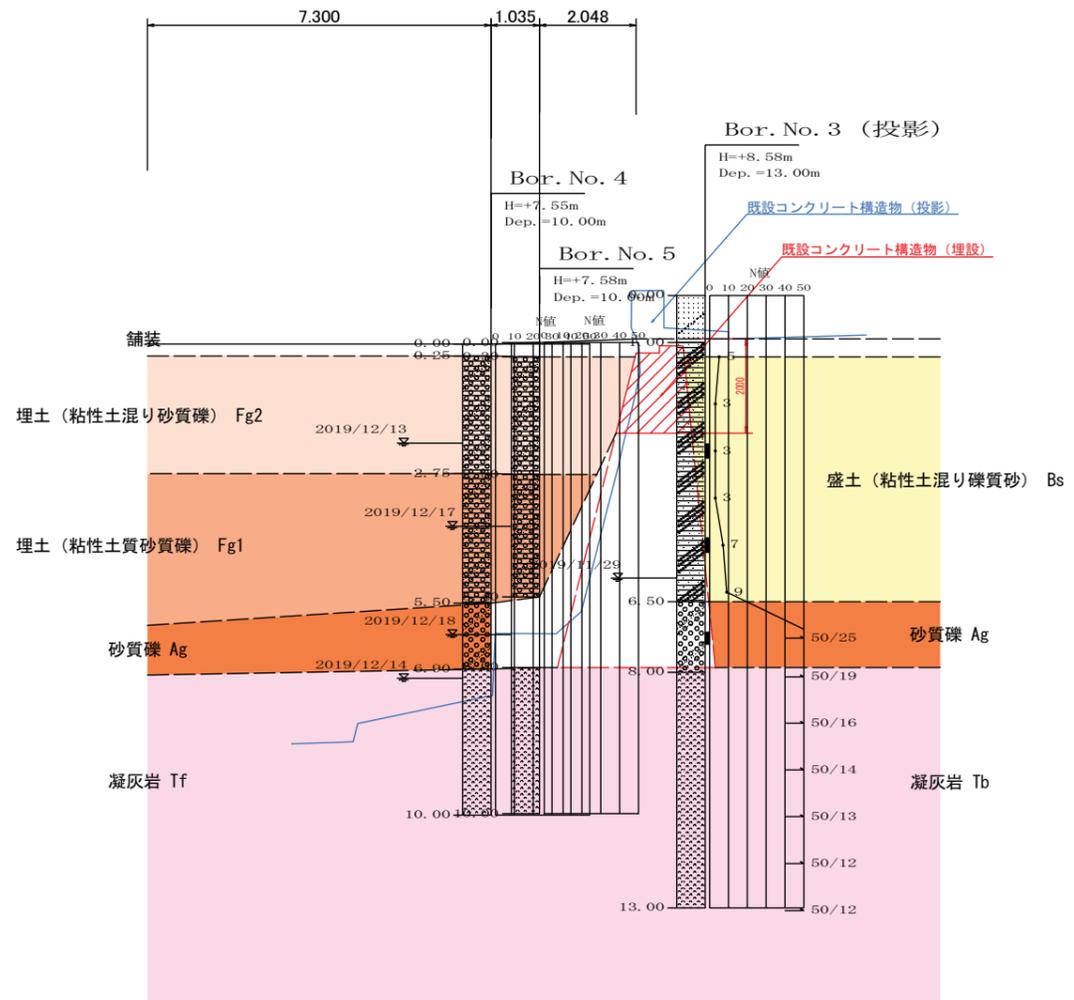
調査名	大分市西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備に伴う地質調査業務委託		
図面名	縦断面図 (Bor. No. 1~Bor. No. 2)		
作成年月日	令和2年 1月		
縮尺	S=1/150	図面番号	葉の内
調査場所	大分市大字神崎		
	大分市都市計画部都市計画課		

(3) 横断図 (Bor.No.4~Bor.No.5)

※A1版横断図 (S=1/75) をA3版 (S=1/150) に縮小表示

横断図

Bor. No. 4~Bor. No. 5



凡例

Bs	: 粘性土混じり礫質砂	埋土・盛土
Fg2	: 粘性土混じり砂質礫	
Fg1	: 粘性土質砂質礫	沖積層
Ag	: 砂質礫	
Tf	: 凝灰岩	洪積層

調査名	大分市西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備に伴う地質調査業務委託		
図面名	横断図 (Bor. No. 4~Bor. No. 5)		
作成年月日	令和2年 1月		
縮尺	S=1/75	図面番号	葉の内
調査場所	大分市大字神崎		
	大分市都市計画部都市計画課		

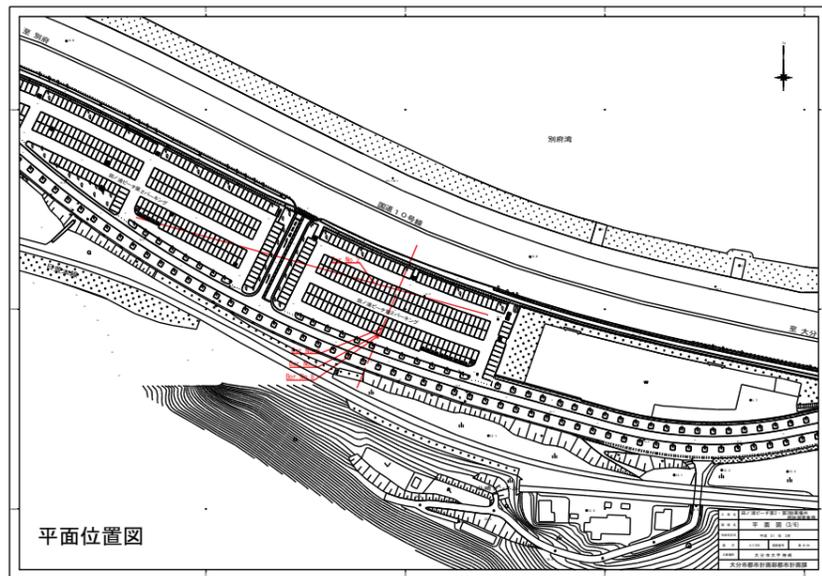
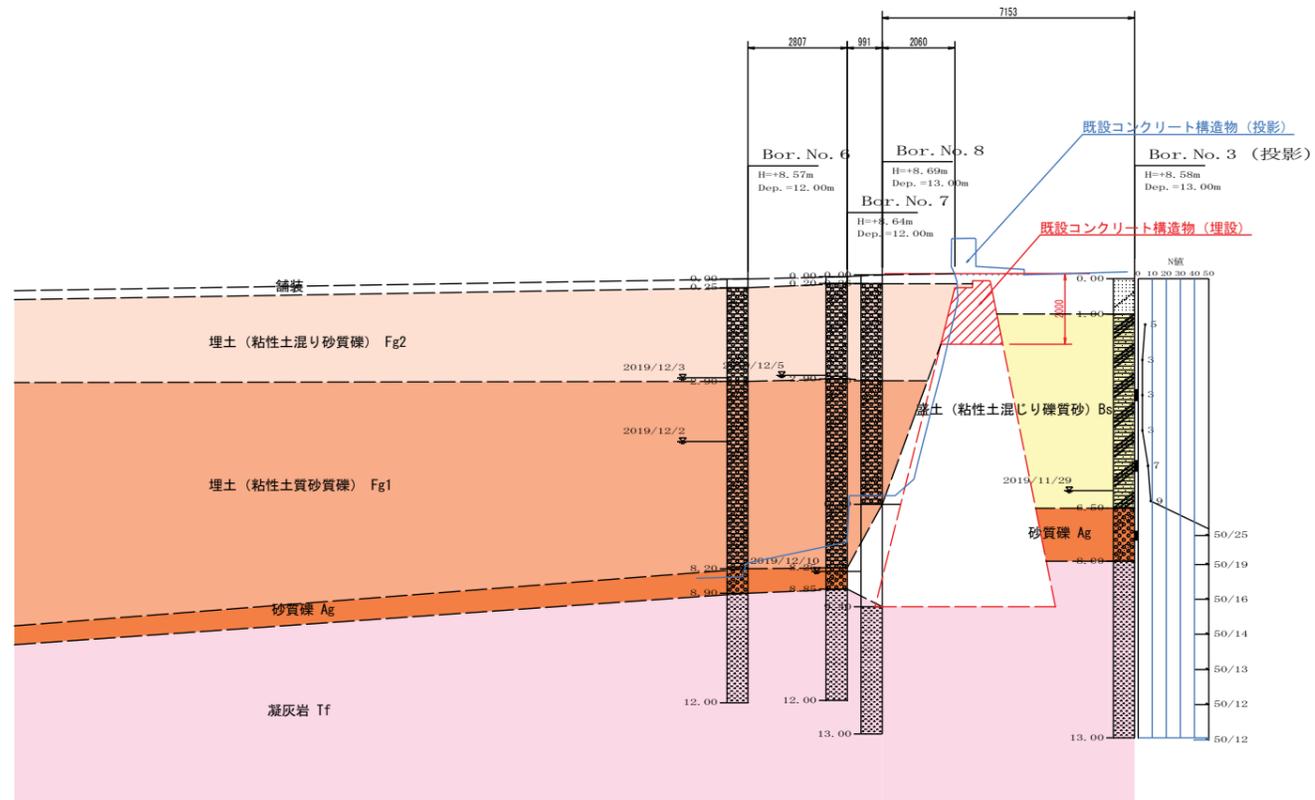
(4) 横断図(Bor.No.6~Bor.No.8)

※A1版横断図(S=1/100)をA3版(S=1/200)に縮小表示

横断図

Bor. No. 6~Bor. No. 8

±0.00



凡 例

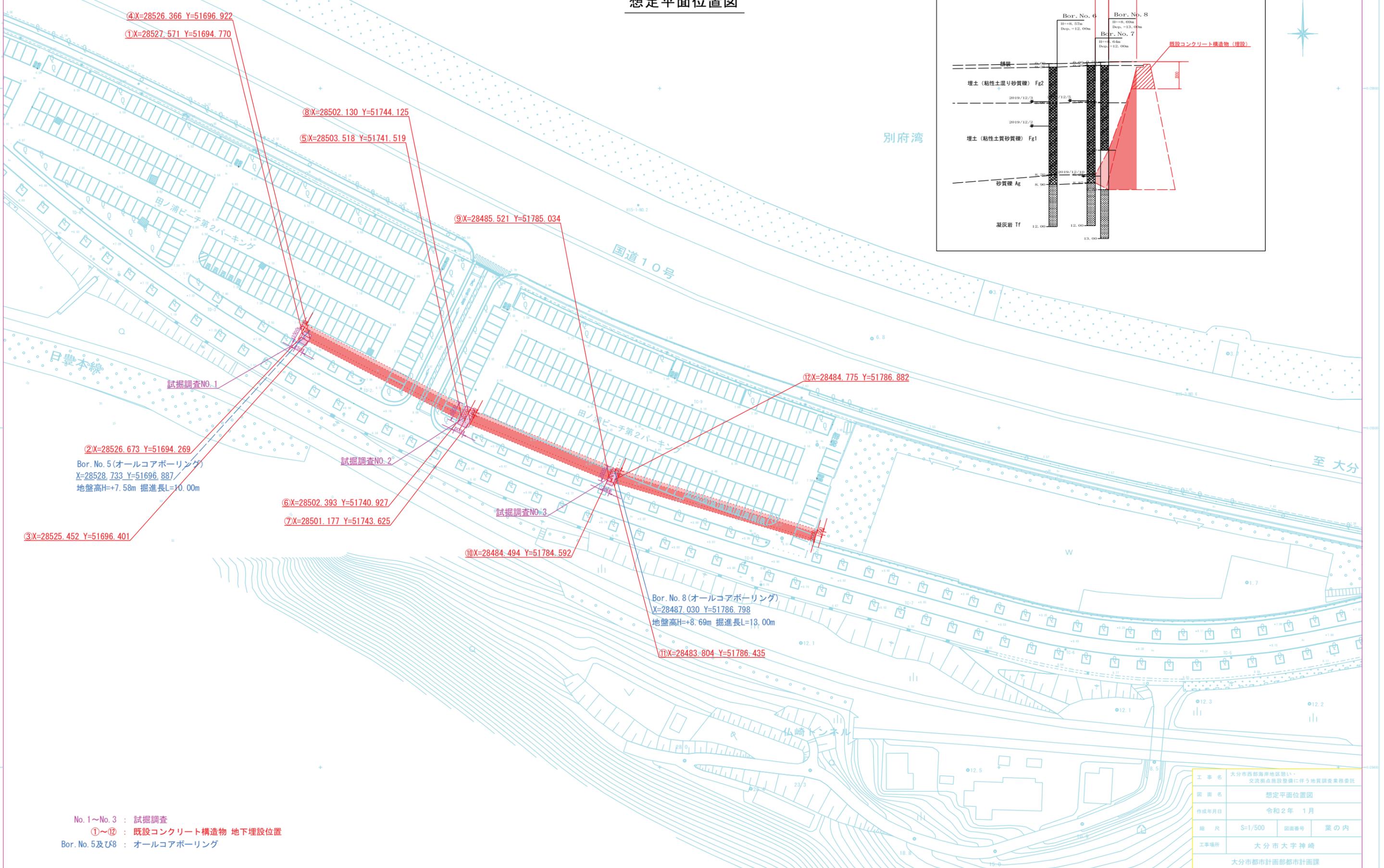
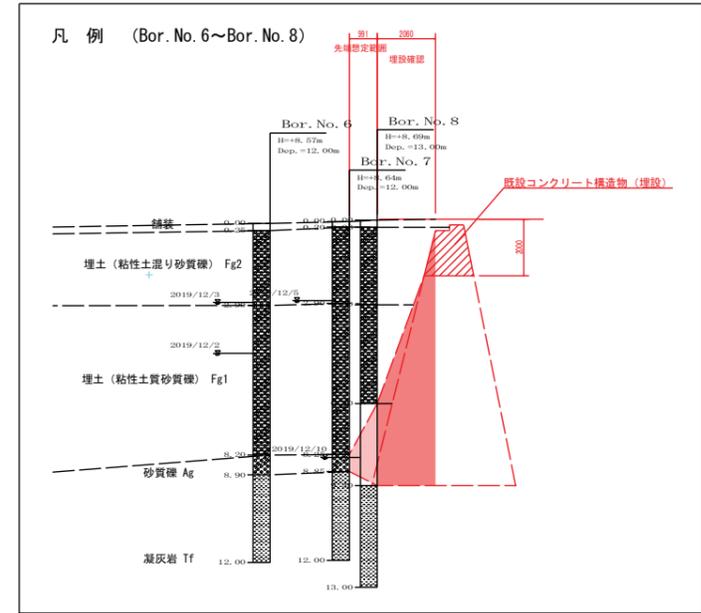
Bs	: 粘性子混り礫質砂	埋土・盛土
Fg2	: 粘性子混り砂質礫	
Fg1	: 粘性子質砂質礫	沖積層
Ag	: 砂質礫	
Tf	: 凝灰岩	洪積層

調査名	大分市西部海岸地区臨海・ 交流拠点施設整備に伴う地質調査業務委託		
図面名	横断図 (Bor. No. 6~Bor. No. 8)		
作成年月日	令和2年 1月		
縮尺	S=1/100	図面番号	葉の内
調査場所	大分市大字神崎		
大分市都市計画部都市計画課			

(5) 既設埋設構造物 想定平面位置図

※A1版平面図(S=1/500)をA3版(S=1/1000)に縮小表示

想定平面位置図



④X=28526.366 Y=51696.922

①X=28527.571 Y=51694.770

⑧X=28502.130 Y=51744.125

⑤X=28503.518 Y=51741.519

⑨X=28485.521 Y=51785.034

⑫X=28484.775 Y=51786.882

②X=28526.673 Y=51694.269

Bor. No. 5 (オールコアボーリング)  
X=28528.733 Y=51696.887  
地盤高H=+7.58m 掘進長L=10.00m

⑥X=28502.393 Y=51740.927

⑦X=28501.177 Y=51743.625

③X=28525.452 Y=51696.401

⑩X=28484.494 Y=51784.592

Bor. No. 8 (オールコアボーリング)  
X=28487.030 Y=51786.798  
地盤高H=+8.69m 掘進長L=13.00m

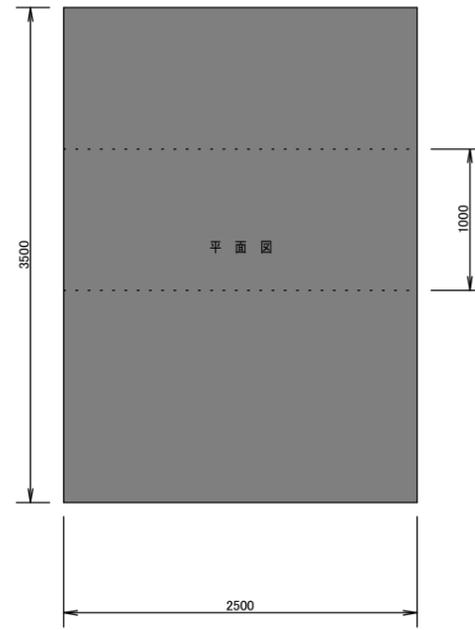
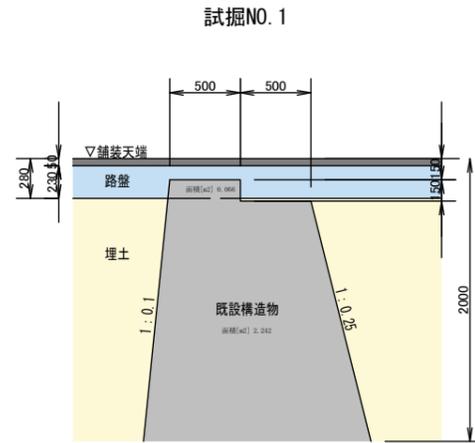
⑪X=28483.804 Y=51786.435

No. 1~No. 3 : 試掘調査  
①~⑫ : 既設コンクリート構造物 地下埋設位置  
Bor. No. 5及び8 : オールコアボーリング

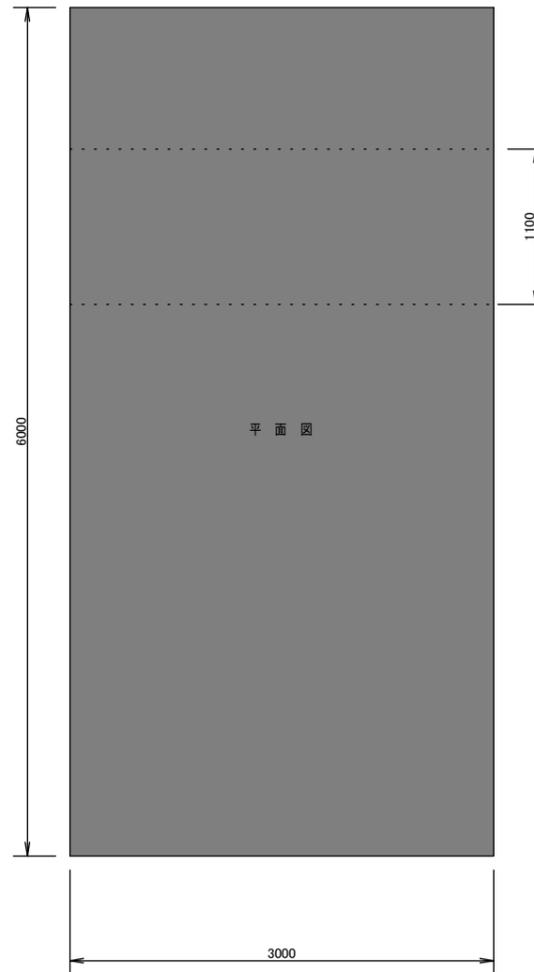
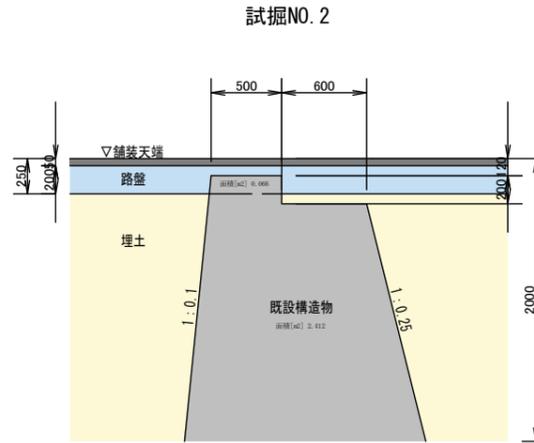
工事名	大分市西部海岸地区臨海・交流拠点施設整備に伴う地質調査業務委託		
図面名	想定平面位置図		
作成年月日	令和2年 1月		
縮尺	S=1/500	図面番号	業の内
工事場所	大分市大字神崎		
大分市都市計画部都市計画課			

(6) 既設埋設構造物 断面図  
 ※A3版断面図(S=1/50)表示

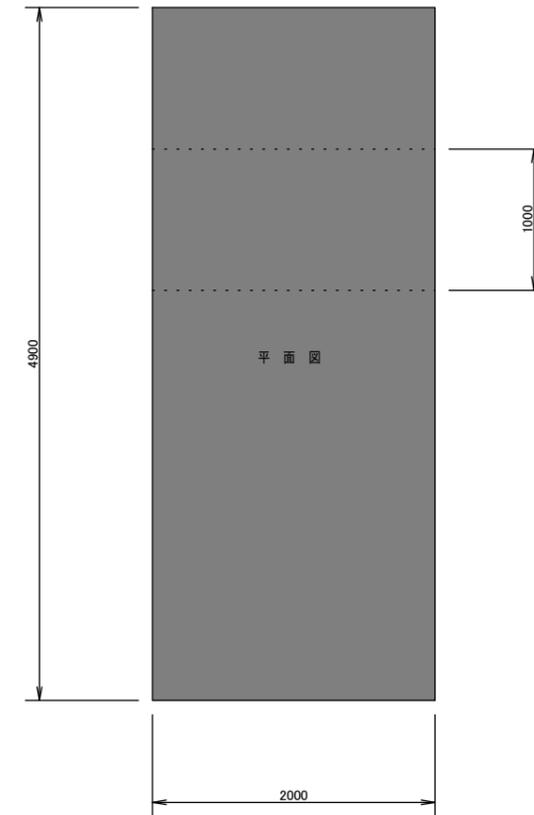
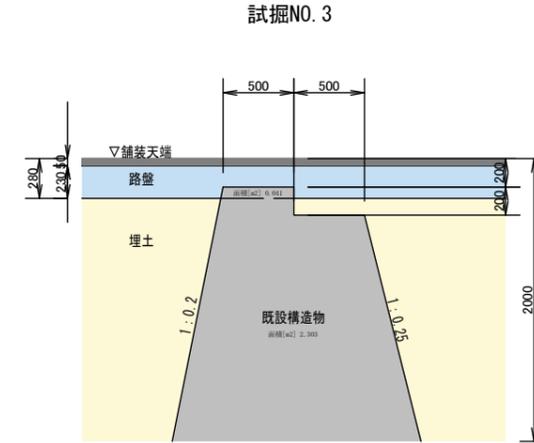
既設構造物断面図 S=1/50



As切断(15cm以下) :  $(3.5 \times 2) + (2.5 \times 2) = 12.0\text{m}$   
 As破砕(t=50) :  $3.5 \times 2.5 = 8.75\text{m}^2$   
 As般運搬(L=10.5km以下) :  $3.5 \times 2.5 \times 0.05 = 0.44\text{m}^3$   
 As般処分 :  $0.44 \times 2.35 = 1.03\text{t}$   
 床掘 :  $(3.5 \times 2.5 \times 2.0) - (3.5 \times 2.5 \times 0.05) - (2.242 \times 2.5) = 11.46\text{m}^3$   
 埋戻し :  $(3.5 \times 2.5 \times 2.0) - (3.5 \times 2.5 \times 0.28) - (2.242 \times 2.5) = 9.45\text{m}^3$   
 路盤工(t=230) :  $3.5 \times 2.5 = 8.75\text{m}^2$   
 表層工(t=50) :  $3.5 \times 2.5 = 8.75\text{m}^2$



As切断(15cm以下) :  $(6.0 \times 2) + (3.0 \times 2) = 18.0\text{m}$   
 As破砕(t=50) :  $6.0 \times 3.0 = 18.0\text{m}^2$   
 As般運搬(L=10.5km以下) :  $6.0 \times 3.0 \times 0.05 = 0.9\text{m}^3$   
 As般処分 :  $0.90 \times 2.35 = 2.12\text{t}$   
 床掘 :  $(6.0 \times 3.0 \times 2.0) - (6.0 \times 3.0 \times 0.05) - (2.412 \times 3.0) = 27.86\text{m}^3$   
 埋戻し :  $(6.0 \times 3.0 \times 2.0) - (6.0 \times 3.0 \times 0.25) - (2.412 \times 3.0) = 24.26\text{m}^3$   
 路盤工(t=200) :  $6.0 \times 3.0 = 18.0\text{m}^2$   
 表層工(t=50) :  $6.0 \times 3.0 = 18.0\text{m}^2$



As切断(15cm以下) :  $(4.9 \times 2) + (2.0 \times 2) = 13.8\text{m}$   
 As破砕(t=50) :  $4.9 \times 2.0 = 9.8\text{m}^2$   
 As般運搬(L=10.5km以下) :  $4.9 \times 2.0 \times 0.05 = 0.49\text{m}^3$   
 As般処分 :  $0.49 \times 2.35 = 1.15\text{t}$   
 床掘 :  $(4.9 \times 2.0 \times 2.0) - (4.9 \times 2.0 \times 0.05) - (2.303 \times 2.0) = 14.50\text{m}^3$   
 埋戻し :  $(4.9 \times 2.0 \times 2.0) - (4.9 \times 2.0 \times 0.25) - (2.303 \times 2.0) = 12.54\text{m}^3$   
 路盤工(t=230) :  $4.9 \times 2.0 = 9.8\text{m}^2$   
 表層工(t=50) :  $4.9 \times 2.0 = 9.8\text{m}^2$

調査名	大分市西部海岸地区臨川・ 交流拠点施設整備に伴う地質調査業務委託		
図面名	既設構造物断面図		
作成年月日	令和2年 1月		
縮尺	S=1/50	図面番号	葉の内
調査場所	大分市大字神崎		
大分市都市計画部都市計画課			